

平成十二年度

漁協運動功労者表彰式



易国間漁業協同組合
代表理事組合長

金田一 源五郎

平成十二年度（第十五回）漁協運動功労者表彰式が、去る十一月十七日、東京・虎ノ門パストラルにおいて行われた。

冒頭、植村正治全漁連会長は、「浜の第一線で、あるいは県連合会において、長年にわたり漁協運動の推進・発展に多大な成果を挙げられ、改めて皆さんのご功績に対し、漁協系統を代表し、敬意を表す」と主催者挨拶を述べ、続いて、谷洋一農林水産相が祝辞を述べた

後、表彰式に移り、植村全漁連会長から受賞者一人ひとりに漁協運動功労章、記章、賞状が手渡された。

この功労章は、漁協運動のリーダーとして長年活動した功績を顕彰するため、昭和六十一年に制定され、今年度本県からは、金田一源五郎易国間漁協組合長（県漁業信用基金協会代表監事）が受章されました。

功績の内容

昭和二十年より小型定置網・いか釣漁業に従事、昭和三十五年易国間漁業協同組合総代に就任、昆布養殖に取り組み、つくり育てる漁業をいち早く実践した。昭和四十七年同漁協理事、昭和六十一年同漁協代表理事組合

長に就任、優れた指導力と行動力で現在の密漁監視体制を確立させた。

漁協経営においても堅実な運営をし、長年にわたり組合事業の発展に努めている。

■地域の漁業振興発展に関する功績

平成五年からスタートさせた布海苔採り体験ツアーを、平成十一年度から近隣三漁協合同で開催させると共に、下北水産振興会副会長として地域の漁業振興発展に寄与した。

また、昭和五十年から風間浦村議会議員として七期目を迎え、漁民の声を村政に反映させるべく長年尽力している。

■県内の漁業振興発展に関する功績

昭和六十二年青森県漁業信用基金協会の監事に就任、平成五年からは同代表監事として、また、昭和五十四年青森県漁船保険組合総代、平成三年全国共済水産業協同組合連合会青森県事務所本部運営委員、平成十年からは下北水産振興会副会長等数々の要職にあつて、風間浦村内・下北地区は基より本県水産業の発展と振興に大きく貢献した。